



家にかえったペテロさんに、イエスさまはいました。
 「王さまは、だれからお金を集めますか。自分の子どもですか。ほかの人からですか。」
 ペテロさんは、「ほかの人からです。」とこたえました。
 するとイエスさまは、「では、子どもは、はらわなくてよいのです。」といわれました。
 (王さまの子どもは、お金をはらわなくてもよいように、神さまの子どもであるイエスさまも、はらう必要はなかったのです。)

イエスさまはいわれました。
 「でも、みんながこまらないように、魚をつりなさい。はじめにつれた魚の口に、一枚の銀のお金があります。それを、わたしとペテロの分としてはらいなさい。」



すると、ペテロさんは、一匹の魚をつりました。その口の中には、本当に銀のお金が一枚入っていました。
 (イエスさまは、ペテロさんがつる魚の口に、お金が入っていることを知っておられたのです。)



ある日、神殿のためのお金を集める人がペテロさんのところに来ていました。
 「あなたたちのイエスさまは、神殿のお金をはらいますか。」
 ペテロさんは「はらいします。」とこたえました。

イエスさまは、みんなのことをよく知っておられます。悪いことをしてしまうと、イエスさまからかくれたくなることがあります。でもイエスさまは、良いことも悪いことも知っていて、私たちが「ごめんなさい」というのをまっとうられます。「ごめんなさい」といえたら、「よくいえたね。」とゆるしてください。イエスさまは、悪い心をきれいな心に変えて、神さまの子どもにしてください。

私のうちに傷のついた道があるかないかを見て私をとこしえの道に導いてください。
 詩篇 139 の 24

魚の口からお金が
 (マタイ 17:24-27)

